



浜銀総研 News Release



平成 26 年 11 月 28 日

「浜銀総研ビジネスウーマン・アワード 2014」受賞者について

株式会社浜銀総合研究所(代表取締役社長 伊東眞幸、横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号)は、神奈川の優れた女性経営者を対象とした「浜銀総研ビジネスウーマン・アワード 2014」の受賞者を、下記のとおり決定いたしました。

記

大 賞 小栗ショウコ (認定NPO法人あっとほーむ 代表理事)

優秀賞 松村利香 (株式会社シルバーメディカルサービス 取締役)

特別賞 高橋陽子 (ダンウェイ株式会社 代表取締役社長)

以 上

【本件についてのお問い合わせ先】
株式会社 浜銀総合研究所
企画総務部 村松
電話 045-225-2374 / FAX 045-225-2396

受賞者概要

大賞 小栗ショウコ(おぐり・しょうこ)

～ 夜間保育を通じて長期間にわたり女性の仕事・子育て両立をサポート

認定NPO法人あっとほーむ 代表理事 (横浜市都筑区)

【授賞理由】

子育て支援にとどまらず、医療、介護、福祉、IT分野など「社会に必要な仕事を担う女性の継続就業」をサポートするという社会性の高いコンセプトを掲げ、1998年、夜間保育事業を起業し、長期間にわたり女性の仕事・子育て両立をサポートしてきた

16年間の累計利用者数は4万人以上にのぼり、「安心して子供を預けられる家庭のような存在」として、地域内の働くママたちから絶大な支持を得ている

起業支援活動や出版・執筆・講演活動などを通じて、夜間保育の運営ノウハウ、仕事・子育て両立スキル等について、全国に向け積極的に情報を発信している

自らの子育て体験をもとに、保護者・子供両方の視点に立った夜間保育を1998年より開始。「子育て支援」にとどまらず、医療、介護、福祉、IT分野など「社会に必要な仕事を担う女性の継続就業」をサポートするという秀逸なコンセプトのもと、平成25年度までの16年間の累計利用者数は4万以上にのぼり、地域内の働くママたちから絶大な支持を得ている。平成25年、横浜市「認定NPO法人」。近年では、自己のビジネスモデルを全国に広めるべく起業支援を開始したほか、出版・執筆活動、講演活動などにも取り組み、仕事・子育て両立のスキル・ノウハウについて積極的に情報発信を行っている。

【略歴】

中京短期大学保育科卒業後、一般企業に就職し約10年勤務後退職。女性が結婚出産後も仕事を続けるためには実家のように頼れる場が必要だと感じ、1998年保育園へのお迎え付き夜間保育を開始。医師や看護師、美容師等シフト勤務や残業のある仕事に従事する女性が働き続けるために保育の分野でサポートをしている。理念は、「仕事も子育ても両方楽しめる社会へ」神奈川県子ども子育て支援奨励賞受賞、横浜市経済局社会起業塾選抜。個人事業から神奈川県指定NPO、認定NPOへのステップアップ実現。

優秀賞 松村利香(まつむら・りか)

～ 地域に根差したマネジメントで通所介護事業を拡大

株式会社シルバーメディカルサービス 取締役(横浜市港北区)

【授賞理由】

入社後 10 年で首都圏に 13 事業所を持つ通所介護事業の経営を実質的に担い、抜群のマネジメント力により業容を飛躍的に拡大させた

事業所ごとに手作りでサービススタイルを考え、利用者目線・家族目線で地域に根差した運営を実践している

将来的なアジアでのビジネス展開を視野に入れ、韓国の大学との人材交流、介護職員育成プロジェクトに着手するなど、優れた先見性を有している

4 人の子育てを終え、1 従業員として 2004 年入社。介護業界は初めてながらも、マネジメント力を短期間に磨き上げ、現在は取締役として、首都圏 13 事業者、200 人規模の通所介護事業の経営を実質的に担い、業容を飛躍的に拡大させた。事業所ごとに手作りでサービススタイルを考え、利用者目線・家族目線で地域に根差した運営を実践し、顧客満足度を高めている。近年では、将来的なアジアでのビジネス展開を視野に入れ、韓国の大学との人材交流、介護職員育成プロジェクトに着手するなど、先見性も優れている。

【略歴】

鶴見大学女子短期大学部 国文科 卒業

プラス株式会社入社、結婚のため退職

平成 16 年 3 月 有限会社シルバーメディカルサービス入社

平成 18 年 本社統括部長就任

平成 24 年 株式会社シルバーメディカルサービス 取締役就任

介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉主事

介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者講習修了

特別賞 高橋陽子(たかはし・ようこ)

～ 「ICT治具」を用いた障がい者就労支援事業の飛躍に期待

ダンウェイ株式会社 代表取締役社長(川崎市中原区)

【授賞理由】

障がい者の「親なきあとの安心した暮らし」の実現をビジョンとして、2011年、障がい者就労支援事業を起業し、障がい者個々人の適性を踏まえた精度の高いマッチングにより、雇用決定数、定着率ともに、国内トップクラスの実績をあげている

インテルと協働で開発したホームページ制作ソフト「ICT治具」は、障がい者が、ホームページ制作を通じて情報発信の苦手な中小企業の営業を支えるという画期的なツールであり、同ツールの活用により、今後さらなる事業の飛躍が期待される

長男の障がいをきっかけに、2011年、障がい者就労支援事業を起業。会社立ち上げ後、4年ほどながらも、障がい者個々人の適性を踏まえた精度の高いマッチングにより、雇用決定数、定着率ともに、国内トップクラスの実績をあげている。インテルと協働で開発したホームページ制作ソフト「ICT治具」は、障がい者が、ホームページ制作を通じて情報発信の苦手な中小企業の営業を支えるという、これまでの固定観念を払拭する画期的なツールであり、同ツールの活用により今後さらなる事業の飛躍が期待される。

【略歴】

大学卒業後、数社の総務人事部門を経験。子どもの障がいをきっかけに、社会保険労務士資格を取得し、事務所を開業。2011年ダンウェイ(株)を設立。インテル(株)と協働し、「ICT 治具」(かわさき KIS 基準認証福祉製品)を開発、ホームページ制作や、学校現場への教育パッケージ提供を実施。ひまわり～ノーマワールドの会～(市民活動)設立、かわさき起業家オーディション起業家大賞、経済産業省ダイバーシティ促進事業表彰受賞、川崎市教育委員(2012年～)、神奈川県知事マニフェスト評価委員

以 上